

令和 5 年度

「運営に関する計画」  
最終評価

大阪市立大宮西小学校

令和 6 年 3 月

## 大阪市立大宮西小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

令和 4 年 3 月改定の市中期目標達成に向けた昨年度の目標は、概ね達成と総括した。中期目標達成に向けての取り組みは進んでいる。しかし、個別の項目では部分的に達成水準以下のものもあるため、今年度にも改善をめざす。

「安全・安心な教育の推進」ではアンケート結果が経年調査時に低下することと、個人の意識と行動状態にずれが生じていることが課題である。

「未来を切り拓く学力・体力の向上」では各種学力調査の結果からは、本校児童全体の学力は徐々に伸長して全国・本市平均との差は縮小し、目標を達成した部分もいくつもあるものの、基礎学力が定着せずに低学力に留まっている層との二極化が大きな課題であると捉えている。その要因は、コロナ禍の影響、家庭学習の状況等、多岐にわたりがつ根深く、継続して改善策を講ずる必要がある。

「学びを支える教育環境の充実」では、3 年以上に及ぶコロナ禍の影響が漸く小さくなってきたことで、教育活動の幅を広げる条件が整いつつある。ICT 機器の効果的な活用を一層推進する。また、働き方改革については、新しく配置されたワークライフバランス支援員の協力も得て、一部にあるアンバランスな勤務実態の是正に努める。

**中期目標****【安全・安心な教育の推進】**

- ・令和 7 年度小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 90%以上にする。
- ・令和 7 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を 1%以下とする。
- ・令和 7 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を 60%以上にする。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

- ・令和 7 年度小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合をどの学年も 35%以上、平均 40%以上にする。
- ・令和 7 年度小学校学力経年調査における国語および算数の標準化得点を、100 以上とする。
- ・令和 7 年度小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合をどの学年も 80%以上、平均 85%以上にする。
- ・令和 7 年度小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 70%以上にする。

**【学びを支える教育環境の充実】**

- ・令和 7 年度小学校学力経年調査における「コンピュータを使って写真や図を用いたスライドを作ることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 3 年 40%以上、4 年 60%以上、5 年 80%以上、6 年 100%とする。
- ・令和 7 年度までに「ゆとりの日」を週に 1 回設定・実施し、順守する。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【安全・安心な教育の推進】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 87%以上にする。
- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度(1.1%)より減少させる。
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童(2人)の改善の割合(前年度は該当児童なし)を増加させる。

#### 学校園の年度目標

- ・年度末の児童アンケート「学級や学校のきまりを守っていますか」の項目について、肯定回答の割合を 93%以上にする。
- ・年度末の児童アンケート「自分には、よいところがあると思いますか。」の項目について、肯定回答の割合を 88%以上とする。
- ・年度末の児童アンケート「学校へ行くのが楽しい」の項目についての肯定回答の割合と、保護者向けの対応項目でどちらも 95%以上とする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 45%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.3 ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 79%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 74%以上にする。

#### 学校園の年度目標

- ・小学校学力経年調査における正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度(今年度 4 年 18.4%、5 年 19.0%、6 年 17.1%)より 1 ポイント減少させる。
- ・小学校学力経年調査における「学校の授業などで、自分の考えを文章に書くことは難しいと思いますか」に対して、否定的回答をする児童の割合を 45%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- ・小学校学力経年調査における「コンピュータを使って写真や図を用いたスライドを作ることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 3 年 40%以上、4 年 60%以上、5 年 75%以上、6 年 95%とする。

- ・「ゆとりの日」を週に1回設定・実施し、順守する。

### 3 本年度の自己評価結果の総括

#### ○年度目標の達成状況

#### 【安全・安心な教育の推進】

##### 全市共通目標（小・中学校）

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の最肯定回答の割合は80.7%で、目標の87%には届かなかった。参考地として、肯定的回答は96.2%となっている。
- ・年度末校内調査において不登校児童は4名おり、在籍比率1.7%で減少させ得なかった。
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校対象児童の出席状況は今年度も改善しておらず、目標を達成できなかった。

##### 学校園の年度目標

- ・年度末の児童アンケート「学級や学校のきまり」を守っているかの肯定回答は88.3%で目標を下回ったが、経年調査の同じ項目は92.2%で目標値93%に近い割合となった。
- ・年度末の児童アンケート「自分には、よいところがあると思いますか。」の肯定回答は82.1%で目標の88%を下回ったが、経年調査では87.8%で目標値に近い割合となった。
- ・年度末アンケート「学校が楽しい」の肯定回答95%以上は児童が92.8%で未達成、保護者向けの対応項目が97.9%で達成。

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

##### 全市共通目標（小・中学校）

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の最肯定回答は48.4%で、目標の35%以上を達成できた。
- ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全市比の同一母集団と

	4年	5年	6年
国語	-2.9	+4.3	+0.4
算数	+0.4	+2.6	+4.9

の経年比較は表の通り、4年生の国語以外は0.3ポイント以上向上しており、ほぼ目標達成と判断できる。

- ・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」の肯定的回答は91.6%で目標の75%を上回った。
- ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」の肯定的回答は86.4%で、目標の75%を上回った。
- ・小学校学力経年調査における「運動・スポーツをすることは好きですか」の最肯定回答は70.3%で、目標の68%を上回った。

##### 学校園の年度目標

- ・小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合は同一の母集団の前年度と比べると、今年度の4年18.4%⇒21.1、5年19.0%⇒7.7、6年17.1%

⇒11.1%となっており、4年生以外は目標を達成。

- ・小学校学力経年調査における「学校の授業などで、自分の考えを文章に書くことは難しいと思いますか」の否定的回答は42.5%で、目標の45%に届かなかった。ただし、学年別に見ると6年生以外は目標値を超え、特に4・5年生は50%以上となっている。6年生も経年変化では向上している。

### 【学びを支える教育環境の充実】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- ・小学校学力経年調査における「コンピュータを使って写真や図を用いたスライドを作ることができますか」の肯定的回答は3年80.5%、4年92.1%、5年77.5%、6年89.1%で、目標の3年40%以上、4年60%以上、5年75%以上、6年95%は、6年以外は達成。目標値の高かった6年も成果を残した。
- ・「ゆとりの日」を週に1回設定・実施し、順守できた日が大幅に増加した。

#### ○達成状況の総括

### 【安全・安心な教育の推進】

アンケート結果では「学校へ行くのが楽しい」以外の目標は昨年度と同様に達成できなかったものの、昨年度よりは改善傾向となっている。特に「学校」が「楽しい」の項目は、昨年度達成できていなかった保護者回答の改善は、コロナ以後の来校機会の増加も好影響を与えていると思われる。ただし、不登校児童の在籍率や出席改善率も向上しておらず、安心・安全な教育への取組みについて更に検証と工夫の必要がある。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

前年度までに設定したどの目標も改善がみられ、概ね達成のレベルになっている。また、新たな専科制度による教員配置に伴って新設した項目も良好な結果である。特に直近の経年調査の結果からは、これまで継続してきた学習活動や授業力向上の総体が成果につながってきていると捉えているが、今後も子どもたちが未来を切り拓く確かな学力・体力を獲得していくよう、本校教育を推進する。

### 【学びを支える教育環境の充実】

ICT機器の活用については目標達成の前提として、活用頻度も学習のまとめの時期に大幅に伸びている。学びを支えるツールとして使いこなしていけるよう、指導を継続していく。働き方改革については会議等の効率化など様々な工夫を積み重ねているが、今年度の改善状況にはワークライフバランス支援員とスクールサポートスタッフの配置によるところも極めて大きい。継続配置が強く望まれる。

(様式2)

## 大阪市立大宮西小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b> <b>全市共通目標(小学校)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を87%以上にする。</li> <li>・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</li> <li>・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</li> </ul> <b>学校の年度目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末の児童アンケート「学級や学校のきまりを守っていますか」の項目について、肯定回答の割合を93%以上にする。</li> <li>・年度末の児童アンケート「自分には、よいところがあると思いますか。」の項目について、肯定回答の割合を88%以上とする。</li> <li>・年度末の児童アンケート「学校へ行くのが楽しい」の項目について、肯定回答の割合と、保護者向けの対応項目でどちらも95%以上とする。</li> </ul>	C

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安心・安全な教育環境の実現】【基本的な方向2 豊かな心の育成】【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 新型コロナウイルスの状況を見極めながら、栽培・観察活動やゲストティーチャーによる授業等の校内体験学習、大阪の特色ある施設利用等による校外体験学習等を充実させ、主体的に学び続ける充実感を持たせる。また、キャリアパスポート等でこれらの取組を記録し、将来的に活用できる素地を構築する。	C
<b>指標</b> ①年度末の児童アンケート「学校へ行くのが楽しい」の項目について、肯定回答の割合と、保護者向けの対応項目でどちらも95%以上とする。 ②キャリアパスポートに全学年とも年間に5枚ずつ記録を残す。	
取組内容②【基本的な方向2、豊かな心の育成】 教科で友達の意見を認め合ったり、学級活動で友だちの良さを認め気持ちを伝える学習を毎学期行ったりするなど、さまざまな教育活動を通して各自が達成感を味わい、自尊感情・自己肯定感が高まるように指導する。	C
<b>指標</b> 年度末の児童アンケート「自分には、よいところがあると思いますか。」の項目について、肯定回答の割合を88%以上とする。	

取組内容③【基本的な方向1 安心・安全な教育環境の実現】【基本的な方向2 豊かな心の育成】 教科書教材による道徳授業を一層深めていくとともに、児童の実態を把握し、「みんなが決まりや規則を守ること、みんなが安心して学べる楽しい学校となる」ことが実感できる集団育成を行う。	C	
指標 年度末の児童アンケート「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定回答の割合を93%以上にする。		
取組内容④【基本的な方向2、豊かな心の育成】 挨拶や丁寧な言葉遣いができ、望ましい規範意識・礼儀を身に付ける意識を持つようにその意義や効用を理解させるとともに、教職員自身も積極的に実践して、日常の教育活動を進める。	C	
指標 年度末の児童アンケート「自分から進んであいさつをしている」の肯定回答の割合を89.0%以上にする。		
取組内容⑤【基本的な方向1 安心・安全な教育環境の実現】 上記取組内容①～④についての情報共有や、児童に関する各校内委員会の月1回以上実施等によって、教職員の共通理解促進に努め、児童への適切な支援、保護者対応、関係諸機関との連携を一層強めることで、個に応じた支援、いじめ・不登校対応の一層の充実を図る。	C	
指標 ①小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を87%以上にする。 ②年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度(1.1%)より減少させる。 ③年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
取組内容① ・地域の特色を生かした校外学習の計画を年度初めに立て、必要な時期に校外に学習に行くことができ、より充実した学習につなげることができた。 ・学びや学校生活の充実を図る取り組みを様々行うことができたが、①の指標を達成するに至らなかった。 ・キャリアパスポートは年度末に五枚書きあげた。		
取組内容② ・児童の実態や学級集団の様子に応じて、各学級で自己肯定感が高まるような様々な取り組みを実践することにより、一定の成果が見られたが、指標を達成するに至らなかった。		
取組内容③ ・学校のきまりについて学級の中で、帰りの会、学活など、様々な時間を使って話す機会を設けているので、きまりを守らなければならないという意識は高まったが、指標を達成するに至らなかった。 ・学校のきまりに関しては(持ち物や身に着けるもの)少しばらつきがあった。		
取組内容④		

・運営委員会で「あいさつ運動」を行ったり、各学級で声掛けを行ったりしたこともあり、あいさつを自発的にできる児童が増えた。しかし、「あいさつ運動」の期間外はあいさつが不十分であったり、一定数あいさつができていなかったりする児童もあり、指標を達成するに至らなかった。

・下校時のあいさつができていない児童が目立った。

・教室等で指導しているがていねいな言葉遣いができない児童が多く見られた。

#### 取組内容⑤

・学級担任が家庭訪問や電話などを通して、継続的に児童や保護者に関わってはいるが、改善には至らず、指標を達成できなかった。

・不登校児童の対応が担任に偏りすぎていた。

・朝の出欠確認の際に、職員室の教職員で電話連絡することにより、朝の会等の活動の充実につながった。ただ、不登校児童以外の「遅刻」の児童が年々増加しているように感じる。

・いじめに関する指導は年間を通して行ったが指標を達成するに至らなかった。

#### 次年度への改善点

・今年度は全体的に年度目標の指標を達成することができなかった。昨年度の数値を鑑みて数値を決定すると思うが、少し目標数値が高いように感じた。指標の数値の見直しも必要であると思われる。

#### 取組内容③

・学校のルールに関しては、指導者も共通理解して、同じ指導を心掛ける。

・「学級や学校のきまりを守っていますか」の肯定回答を増加させるために、学校のきまりを学校だよりやミマモルメなどを活用して、保護者とも適宜確認し、家庭との連携をはかる。また、委員会活動などで児童自らきまりを守るためにできる活動はないか考え、活動を工夫する

#### 取組内容④

・丁寧な言葉遣いについては、今後の課題だと思う。言葉遣いがよくない児童が多いので、月目標の時に特に意識して指導する等の取り組みを行った方がよい。

・今年度は、あいさつ運動の開始が遅かったので、1学期から、学期ごとにできるようにして、しっかり呼びかける。

・下校時の挨拶も含め、あいさつ運動以外の期間も挨拶の指導をさらに工夫する。

#### 取組内容⑤

・不登校児童に関しては担任が主になりすぎだと感じる。不登校児童への対応教諭組織を作ることが大切であると感じる。

・遅刻が多い児童に対しても、不登校に繋がる可能性を考慮し、保護者と連携して声掛けを行う。

・不登校の児童に対して学校だけでなく、スクールカウンセラーや福祉などが多面的に関わっていくことが必要である。



## 大阪市立大宮西小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 45%以上にする。</li> <li>・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.3 ポイント向上させる。</li> <li>・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。</li> <li>・小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 79%以上にする。</li> <li>・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 74%以上にする。</li> </ul> <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度(今年度 4 年 15.4%、5 年 19.0%、6 年 17.1%)より 1 ポイント減少させる。</li> <li>・小学校学力経年調査における「学校の授業などで、自分の考えを文章に書くことは難しいと思いますか」に対して、否定的回答をする児童の割合を 45%以上にする。</li> </ul>	A2 B8

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【基本的な方向 4、だれ一人取り残さない学力の向上】</p> <p>基礎的な学力の土台となる認知機能を養う ICT アプリを通年の帯学習(漢字・計算・読解・視写等)に加えて計画的に実施することを通して、自主学習習慣の確立の手立てや基礎的な学力の定着を図る。また、これまでの漢字検定を生かした漢字学習を工夫し、学ぶ意欲の向上につなげる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>①小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団で経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.3 ポイント向上させる。</p> <p>②小学校学力経年調査における正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント減少させる。</p>	B

<p>取組内容②【基本的な方向 4、だれ一人取り残さない学力の向上】</p> <p>「考える力」「伝え合う力」を育み、主体的に書くことへとつなげる教育活動を国・算・理・社・外国語の各教科で行い、全教員が研究授業を実施する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>①小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 45%以上にする。</p> <p>②年度末の児童アンケート「学校の授業などで、自分の考えを文章に書くことは難しいと思いますか」に対して、否定的回答をする児童の割合を 45%以上にする。</p>	B
<p>取組内容③【基本的な方向 4、だれ一人取り残さない学力の向上】</p> <p>学校司書との連携や蔵書等管理パソコンの活用等で学校図書館の利用を充実させるとともに、学級での図書指導、読書週間、区図書館の集団貸出し制度を効果的に活用し、読書意欲を高める。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>①読書カードを活用し、読書量を高学年 20 冊、低学年 30 冊以上とする。</p> <p>②年度末の児童アンケート「本を読むことは楽しい」の肯定回答の割合を低学年で 80%以上、高学年で 70%以上にする。</p>	B
<p>取組内容④【基本的な方向 4、だれ一人取り残さない学力の向上】</p> <p>新たに配置された理科専科教員を中心に、実験・観察など体験的学習とグループ学習などによる考察を数多く取り入れた理科授業を構築し、児童の理科学習意欲を向上させる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。</p>	B
<p>取組内容⑤【基本的な方向 4、だれ一人取り残さない学力の向上】</p> <p>通年での英語モジュール学習の実施や、小中兼務英語科教員・C-Net 講師の指導技術等を全教員が吸収することで、幅広い英語学習・英語活動に役立て、児童の英語学習意欲を向上させる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 79%以上にする。</p>	B
<p>取組内容⑥【基本的な方向 4、だれ一人取り残さない学力の向上】</p> <p>各学年で家庭学習材の継続的な提供と提出状況の把握を通して家庭学習の習慣化を図ったり、放課後学習会への参加を継続的に促したりすることで自主学習を促進するとともに、自分なりの作品や学習成果をクラス等で発表や交流ができる場を設けていく。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>①家庭学習の定着を図るために必要な家庭学習材を提供し、提出率を 95%以上にする。</p> <p>②自主学習習慣が定着していない児童の家庭と連携し、放課後学習会への参加を継続的に促していく。</p> <p>③自分なりの作品や学習成果を発表や交流できる機会を工夫し、年間で 1 人当たり</p>	B

2回以上、うち1回以上は「書くこと」と関連づいた機会を持てるようにする。	
<p>取組内容⑦【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>体育科校内実技研修会の開催などを通し、教員全体の体育指導力を向上させるとともに、全校児童の体力・運動能力の状況を把握し、適切な運動の機会を設定してコロナ以前の運動量に回復させていく。</p> <p>指標</p> <p>①体育実技研修会を年2回、計画的に実施する。</p> <p>②小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を74%以上にする。</p>	B
<p>取組内容⑧【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>保健学習、保健指導を計画的に実施し、健康な生活を送る力を養う。</p> <p>指標</p> <p>保健指導アンケートで「低学年は午後9時、高学年は午後10時までに寝るようにしている」の肯定的回答を1学期と比較して3学期には5ポイント向上させる。</p>	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>取組内容①【ICT、帯学習、自主学习】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7割の児童が、1年間を通して自主学习に取り組んだ。特に、学年が上がるにつれ、リズムも定着し、テーマ也多岐にわたった。一方で、漢字の書き取りや計算のみに留まる児童も一定数おり、自主学习の取り組み方について継続して指導していく必要がある。</li> <li>・認知機能の向上を目的としたコグトレーニングのアプリを導入し、1年間隙間時間を活用して継続して取り組むことができた。</li> <li>・モジュールは一年間きちんと行った。児童の中で定着している。</li> </ul> <p>取組内容②【主体的に書くことへとつなげる教育活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も研究として書く活動に取り組んできたこともあり、書くことに抵抗は少なくなってきた。しかし、自分の考えや思いを文章に表すとなると手が止まってしまう児童の姿もまだ見られる。</li> <li>・特に、国語科の学習のなかで、書く活動を多くとりいれた。構成メモを作りながら、それをもとに自分の考えを書くことに慣れてきている。</li> <li>・書く活動にとどまらず、話し合い活動も定期的に取り入れ、伝え合う場を設けた。</li> </ul> <p>取組内容③【学校図書、読書】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集団貸し出しを活用して、調べ学習を行ったり、本を読む機会を多く取り入れた。学級の児童は何か隙間時間があれば本を読むことが定着化している。</li> <li>・旭図書館からの貸し出しや、読書週間の設定など、本に親しむ機会が多く、児童らが読書を楽しむ姿が見られた。</li> </ul> <p>取組内容④【理科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区の研究授業のためにとったアンケートでは5年生の95%が「理科の学習は楽しい」と回答した。実験や観察を多く取り入れたり、図や文で自分なりに表現する機会を確保したりすることで、児童らが主体的に楽しんで取り組めるように心がけた。</li> </ul> <p>取組内容⑤【外国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モジュールはどの学年でも毎日取り組み、児童らは楽しんで英語に親しんでいる。</li> </ul>	

・高学年では、C-NET や中学校の先生の協力を得て、外国語の授業を組み立てている。ワークシートや長期休暇中の課題にも取り入れたことで、年度当初に比べ外国語の学力も向上した。

**取組内容⑥【家庭学習、放課後学習会】**

・ほとんど 95 % 以上の提出率であった。丁寧な文字や全問正解には花丸やシールのご褒美などを設けたことで、それに向けて頑張っていた。

・家庭学習の提出については、提出できない児童が各学級で固定化してしまっている。

・放課後学習会の回数を確保できるように学校行事にあわせて適宜学力向上コラボレーターを予定を調整した。

**取組内容⑦【体育】**

・耐寒駆け足やなわとび集会の回数をコロナ前に戻すようにして、運動の機会を設けた。

・なわとびや駆け足タイムのおかげで体力はついてきているように思われる。

・体育科実技研修を 3 回行った。

**取組内容⑧【保健学習、保健指導】**

・毎学期の健康週間では健康委員会児童が啓発ポスターを作成、放送、動画放映することで健康への啓発をおこなった。

・低学年は午後 9 時に寝た児童が 1 学期では 25 % で 3 学期では 31 % 1 学期より 6 % 増加した。高学年は午後 10 時までに寝た児童は 1 学期 45 % で 3 学期では 53 % 1 学期より 8 % 増加した。

・就寝時刻は、どの学年も、塾や習い事の関係で遅くなる児童が結構いた。

・委員会で動画を作成してくださったり、放送等での呼びかけがあったりしたことで、保健週間の間の短い期間だけでも意識して取り組む姿が見られた。(できなかったときにも、それを振り返ることができた。)

・保健指導を通して、睡眠の大切さを指導した。

・今年度初めて、全校児童参加の学校保健委員会を開催した。外部講師をお呼びし、睡眠についての講話していただいた。

・遅刻が目立つ児童には、懇談で保護者に伝えたが改善されない。

・目安となる就寝時間を入学説明会で伝えし、家庭との連携をはかった。

**次年度への改善点**

**取組内容⑥【家庭学習、放課後学習会】**

・学力に課題がある児童については、個別の支援を各学級で、集団での指導を放課後ステップアップで、と連携を取りながら継続して支援した。

・家庭学習については提出しない児童が各学級で固定化されている。このことから、来年度設定する指標について、比較対象を学級にするのではなく、個人にするのはどうか。(提出率の低い児童に、継続して励ましたり、指導したりすることで、学期ごとに提出率を向上させられるように取り組んでいく。)

**取組内容⑧【保健学習、保健指導】**

・睡眠の大切さを継続的に伝えていくことが大切であるが、低学年は午後 9 時、高学年は午後 10 時までに寝ることが定着していないので、来年度以降も同じ取り組みを進めていった方がよい。

・寝る時間は家庭の生活習慣から変わるものである。メディア使用時間が長い児童も多くメディア使用時間を家庭で話し合うことの重要性を伝え、保護者にも協力を仰ぐ。

(様式 2)

大阪市立大宮西小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b> <b>全市共通目標(小学校)</b> <b>【ICTの活用に関する目標】</b> ・小学校学力経年調査における「コンピュータを使って写真や図を用いたスライドを作ることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を3年40%以上、4年60%以上、5年75%以上、6年95%とする。 <b>【教職員の働き方改革に関する目標を設定する】</b> ・「ゆとりの日」を週に1回設定・実施し、順守する。	B11

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 ICT機器や一人一台端末を日常的に学習活動で活用するとともに、毎日の「心の天気」の活用や「相談機能」の積極的活用、教員も毎日PCを確認することなどの実践を通じて、すべての児童がコンピュータ等の活用スキルや情報リテラシーを向上させる。	B
<b>指標</b> 小学校学力経年調査における「コンピュータを使って写真や図を用いたスライドを作ることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を3年40%以上、4年60%以上、5年75%以上、6年95%とする。	
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 会議・行事の精選やICTの活用を進めるとともに、ワークライフバランス支援員への協力依頼を計画的に行うことで、偏った長時間勤務の防止に努める。	B
<b>指標</b> 「ゆとりの日」を週に1回設定・実施し、順守する。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<b>取組内容①【ICTのスキルと情報リテラシーの向上】</b> ・パワーポイントを使って、学習のまとめや発表を行った。クラスのほぼ全員が自分でパワーポイントを使うことができるようになった。 ・経年調査での割合は分からないが、各学年やクラスの見立てとして、経年調査の指標指数の割合は超えていると思われる。 ・心の天気は全員が毎日入力することはできなかった。 ・スライドを作る学習は、1年間を通して何度か行ったが、心の天気の入力が不十分であった。

**取組内容②【人材の確保・育成としなやかな組織づくり】**

- ・ワークライフバランス支援員さんの協力により印刷業務や電話対応などの仕事の負担が軽減されている。
- ・「ゆとりの日」について、職員室のホワイトボードや週予定等で周知がなされ、意識しやすかった。また、5時半セットや提出物の締め切りなど打刻のところにふせんを貼っていただいていたのがとても分かりやすかった。
- ・ゆとりの日を徹底順守できるよう、職員に対しては月中行事、週行事予定表、職員室前方のホワイトボードへの記載、職朝での口頭アナウンス、SKIP 上での職朝掲示板、打刻機への紙媒体での掲示と6種類のアナウンスで徹底をはかった。また、保護者に対しても学校だより、玄関掲示、学年だよりで5時半閉庁の日を事前にお知らせするようにした。
- ・ICTの活用により、会議は精選されている。
- ・働き方改革は、(個人差はあるが)なかなか定着が難しい。

**次年度への改善点****取組内容①【ICTのスキルと情報リテラシーの向上】**

- ・児童へのインターネットの弊害（依存症やデジタルタトゥーなど）について低学年から指導していく必要がある。
- ・心の天気の入力が義務なのであれば、全学年徹底する必要がある。
- ・心の天気について、登校したら個人の手提げで一日端末を管理し、帰りの会等で入力する時間を設けて下校時に保管庫に返すなど、取り組む時間を明確にしたり端末を操作するのに使う時間を短縮したりする取り組みが必要だと思いました。
- ・心の天気を活用し児童の心の状態の変化に迅速に気づく必要がある。

**取組内容②【人材の確保・育成としなやかな組織づくり】**

- ・「ゆとりの日」は設定したが、ほとんどの日家に仕事を持ち帰っている教職員もいた。
- ・長時間勤務の偏りを是正できるよう、取り組める工夫を取り入れる。